日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2016
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

記事の森から世界が見える
木材建材ウイクリー
Japan Lumber Reports

志布志に製材工場建設へ

外材シェアの奪還に挑む

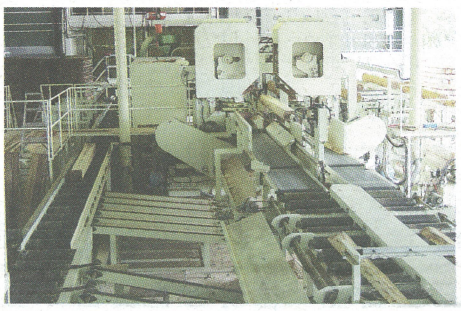
外山木材

外山木材（宮崎県都城市、外山正志社長）は、鹿児島県志布志市に新たな製材工場を建設するための土地を購入した。敷地面積は約6万坪。製材機械の選定に入るなど準備を進めており、2018年半ばからの本格稼働を目指す。国産材製品による外材からのシェア奪回に挑むとともに、製材品の海外輸出も視野に入れる。

同社は現在、主な製材拠点として本社工場（足場板など）、今町工場（杉小径材を中心に柱角、間柱など）、志和池工場（杉中目丸太から製品全般）の3工場があり、原木消費量は杉で年間16万立方㍍前後になっている。1987年に稼働を開始した今町工場、2009年の志和池工場は、その時代における最新鋭のノーマン製材ラインを導入している。

新工場用の土地は、都城市の南方に位置する鹿児島県の曽於市と志布志市の境界付近に当たる。今後、都城から志布志まで有料自動車道路が開通する予定で、例えば志和池工場から新工場までは自動車で30分程度になる。

製材ラインは志和池工場のノーマン製材ラインと比較して約15％生産能力を向上させる計画。単独でも原木消費量で年間10万立方㍍以上の製材工場になる。メーンライン周辺の関連機械も併せて改良し生産効率を上げる。新工場がフル稼働した場合、全社合計で原木消費量は年間30万立方㍍規模が見込まれる。ただ、規模を追うのではなく「製品品質は時代とともにグレードアップしていく。品質、納期を最優先に対応し、顧客への安定供給を実現するために取り組む」（外山社長）。発電は新工場での燃料調達を検討し、行わない予定だ。


志和池工場のノーマン製材ライン。新工場では約15％生産能力を向上させたラインを導入する計画

生産品目はムク材を中心とした住宅建築用材を中心に据えながら、杉2×4材をはじめとした様々な分野に取り組む。戸建て住宅需要の漸減を、外材からのシェア奪回で乗り越えていく考えだ。一方、新工場は全国一の木材輸出港・志布志港に近い立地を生かし、杉製材品の輸出で新規需要開拓にも挑む。

宮崎県では中国木材日向工場が原木消費量で年間30万立方㍍ペースの操業に入っている。「今後は住宅市場に占める有力ビルダーの比率が高まると予想され、中国木材の取り組みは国産材が安定供給を実現する糸口になるのではないかと思っている。輸出なども含めて参考にさせてもらい、国産材の未来を切り開いていくことにつなげていければ」（同）。

主な記事
本日は24頁建て
▽2～18面　エネルギー用途へ復権
▽19面　会社特集　フクビ化学工業　フクビの浴室リフォーム工法
▽20～22面　これが我が社の強み

CLT・集成材工場が稼働

中東、山本ビニター

2016年 新春特集

中東（石川県能美市、小坂勇治社長）は、建設を進めてきたCLT（直交集成板）工場の試験稼働を開始し、今春にもCLTをはじめ、大・中・小断面構造用集成材のJAS取得を目指す。同工場は、高周波プレスを山本ビニター（大阪市、山本泰司社長）と共同で開発し、同機を導入することでCLTと大・中・小断面構造用集成材を同一ラインで生産できる日本初の工場となる。

高周波プレスを共同開発

同社は、大断面集成材建築事業の領域拡大を目指し、山本ビニターと共同でCLTや構造用集成材、同製品の2次接着、集成厚板パネルの接着が可能な高周波プレスの開発を進めてきた。同機を導入することで、日本で初めて、中・大型木造建築の部材供給すべてに同一ライン生産で対応可能とした。

新工場は、本社と構造用集成材などの加工工場に隣接した約3000平方㍍の木造。CLT、構造用集成材ともに接着剤にレゾルシノールを使い、樹種は杉、桧、カラ松、ヒバ、国産材、米松、アカ松、カラ松と杉のハイブリッド生産に対応する。

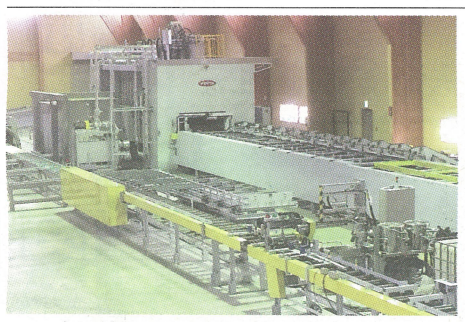
CLTは厚さ270、幅1250、長さ6200㍉まで。生産量は、CLTや大断面構造用集成材の1シフト8時間生産の試算で月間750立方㍍。昨年12月中旬から試験稼働を始めた。

試験稼働で生産した生産部材は、新たに建設する650平方㍍余りの製品倉庫の構造部材として使用する。試験稼働では、漏脂病により患した能登ヒバを原料に構造用集成材を生産し、成分や強度試験を実施しながら部材活用の道を模索する。これは、同社が推し進める能登ヒバの需要開拓の一環ともなる。

今回のCLT生産を含む新工場の整備は、同社の主力である大断面集成材建築の事業強化を目指したもの。大・中・小構造用集成材を生産する寺井工場の月間250立方㍍と合わせ、CLTと構造用集成材の生産能力は同1000立方㍍となる見通し。

小坂社長は「CLTの生産は物件対応を想定しており、構造部での部分使い、特に床材としての利用を見込んでいる。コンクリートの養生期間を必要としないことや加工が容易であることなどを強みに、コンクリートスラブの代替として普及を目指していきたい」と話している。

なお、今月30日には、高周波プレスと、CLTと構造用集成材の同一生産ラインの見学会及び講演会を開く。


市場拡大が見込まれる木造建築市場に柔軟な部材供給が可能となった

中部フローリング（株）
無垢・挽板
URL：e-flooring.co.jp
本社 052-503-1626
東京 03-5634-8873
大阪 06-6748-9650
秋田 0186-44-4355
仙台 022-307-3348
金沢 076-269-3435
福岡 092-408-7752

木更津に杉家具モデルルーム誕生
TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

杉ムク平角
やみぞパワー
JAS機械等級
E70・E90・(110)
邸別出荷・平均納期4日
二宮木材株式会社
本社
〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町741-5
TEL.0287-36-0056 FAX.0287-36-1129
http://www.ninomiyamokuzai.com/

謹賀新年
旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます
本年も倍旧のご愛顧の程ひとえにお願い申し上げます
旧年は「しろあり保証1000」のスタート、「Jotoしろあり保証制度」のグッドデザイン・ベスト100の受賞、「しろあり延長保証制度」が最長20年より30年に延長されるなど、まさに「しろあり保証制度」の一年でした。本年もコーポレートスローガンにある通り、現場の声に耳を傾けたモノづくりで日本の住宅をささえていく所存です。
GOOD DESIGN AWARD 2015
BEST 100
城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。
ダイヤル【J】0120-106011 受付時間（土・日・祝を除く）9:00～12:00/13:00～16:00
本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目14番地1 TEL.072-868-6611(代) FAX.072-868-6687(代)
http://www.joto.com